

琉球大学学術リポジトリ

ひろがるリポジトリ ～沖縄地域学リポジトリ～

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学附属図書館 公開日: 2009-02-09 キーワード (Ja): 地域共同リポジトリ, サブジェクト・リポジトリ, 琉球大学附属図書館, 沖縄農業研究会 キーワード (En): 作成者: 照屋, ひとみ, Teruya, Hitomi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/8887

ひろがるリポジトリ ～沖縄地域学リポジトリ～

琉球大学附属図書館 照屋ひとみ
「沖縄地域学リポジトリ」試験公開記念講演会
2009年2月6日(金)

リポジトリとは？

保存

リポジトリ
= repository
= 保管庫

本文そのものを
保存

整理

- ・世界標準の規則に沿った項目で
- ・独自のキーワードも付与できる



リポジトリ専用の
検索エンジンでも
(JAIRO, OAISter等)

発信

無料で
誰でも
いつでも
どこでも

沖縄地域学リポジトリとは？

沖縄県内に所在する**学術成果物等**を、

電子的に蓄積・保存し、

広く**世界へ発信**するためのものです。

琉球大学附属図書館が幹事役となり、

2009年2月6日、沖縄農業研究会との連携協力

のもと、**試験公開**を開始しました。



実際に見てみましょう

沖縄地域学リポジトリ

<http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp>

参加機関: 沖縄農業研究会

- 検索
- 詳細検索
- 一覧表示
- 著者
- 収録種別
- 日付(作成日)
- 掲載誌一覧
- ダウンロードランキング
- 参加機関一覧
- 全一覧
- 沖縄農業研究会 [660]

検索

「沖縄地域学リポジトリ」2009年2月試験公開！
2009年2月、試験公開を開始しました。

検索

詳細検索

一覧表示

著者

収録種別

日付(作成日)

掲載誌一覧

ダウンロードランキング

参加機関一覧

全一覧

沖縄農業研究会 [660]

各種・保存し、広く世界へ発信するためのものです。
2月6日、沖縄農業研究会との連携協力のもと、試験公開を開始しました。

はれている私的使用、引用等の範囲内で利用してください。

研究報告書 会議資料 図書 学位論文 教材 その他

論文 紀要論文 研究報告書 会議資料 図書 学位論文 教材 その他



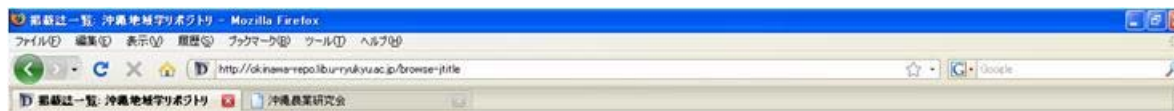
参加機関:

琉球大学学術リポジトリ

国内の機関リポジトリ
覧(国立情報学研究所)

問合せ先:
琉球大学附属図書館
情報サービス課企画グループ
mail: ir-wg (at)
u-ryukyu.ac.jp
※(at)→@

掲載誌一覧から論文へ



『沖縄農業』1962年創刊号から最新号を除く全54号を全文公開

連統一体型細製NIRシステムによるサトウキビ品質評価の試み: 沖縄地域学リポジトリ - Mozilla Firefox

http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/handle/okinawa/1520

沖縄地域学リポジトリ

ホーム 概要 参加機関

検索

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/handle/okinawa/1520>

タイトル : 連統一体型細製NIRシステムによるサトウキビ品質評価の試み
別言語のタイトル : Trials of evaluation for shredded sugarcane quality measurement system.

著者 : 上野, 正実
 平良, 英三
 川満, 芳信

別言語の著者 : Ueno, Masami
 Taira, Eizo
 Kawamitsu, Yoshinobu

著者所属 : 琉球大学農学部

作成日 : 2007-8

公開者・出版社 : 沖縄農業研究会

収録種別 : 雑誌掲載論文

NIITタイプ : Journal Article

ISSN : 1344-1477

権利 : 沖縄農業研究会

URI : <http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/handle/okinawa/1520>

備考 : 通巻54号

掲載雑誌 : 沖縄農業 Vol.41 no.1 p.3 -14

出現コレクション : 沖縄農業

登録ファイル	ファイル	記述	サイズ	フォーマット
	653.pdf		1780Kb	Adobe PDF

アイテムの詳細レコードを表示する

653.pdf (Application/pdf オブジェクト) - Mozilla Firefox

http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/okinawa/1520/1

連統一体型細製NIRシステムによるサトウキビ品質評価の試み

上野 正実・平良 英三・川満 芳信
 (琉球大学農学部)

Masami UENO, Eizo TAIRA, Yoshinobu KAWAMITSU:
 Trials of evaluation for shredded sugarcane quality using the continuous and integrated type NIR measurement system.

1. はじめに
 サトウキビは、量だけでなく品質も加味して買い上げ価格が決められている。これは農産物の取引では普通に行われていることで、とりたててめずらしいことではない。この仕組み(品質取引制度)は、平成6年度にようやく導入されたもので、他作物に比べて大きく遅れをとっていたとも言える。しかしながら、品質の評価法は近赤外線(NIR: Near-Infrared)分光法を使用する世界でも先進のシステムであった。すなわち、品質の良否を表す指標として「甘蔗糖度(原料に含まれる糖分の割合)」が採用され、NIRで測定した蔗汁の糖度を用いて甘蔗糖度に換算する方法を用いている。導入および運用における多くの関係者の努力が身を結び、深刻なトラブルも発生せず、ほぼ順調に稼働してきた。この間、品質取引制度への理解も深まり、農家にもなじみの深い制度となっている。

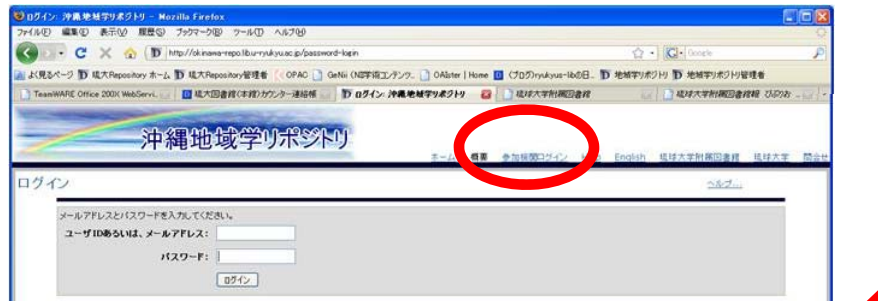
この評価システムは、サンプリング、人手によるクリーンケーン(清浄原料)の選別、シュレッダによる細製、油圧プレスによる搾汁、NIRによる品質測定より構成されている。このように工程が煩雑な上に、多くの人手を要することからコスト高であることが以前より指摘されてきた。導入後10年以上が経過し、機器類も老朽化し、更新すべき時期になっている。これに合わせて品質評価システムの低コスト化を検討することになり、農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構の助成事業「サトウキビ品質取引安定化事業」の一環として「品質取引低コスト化推進事業」が平成14~16年度に実施された。

沖縄県では、従来と異なる新しい品質評価システムとして、搾汁工程を省いたサンプルから糖度を測定する「細製NIR法」を中心に検討を進めてきた。中でも、サンプルの投入からNIR測定までの一連の工程を一台の装置で連続的に実行できる「連統一体型測定システム」に重点をおいて試験を行った。並行して卓上機を用いる分離小型測定システムの試験も実施した。これらの試験によって、クリーンケーンであれば細製材料でも高い精度で測定可能であることを示し、細製NIR法の有効性を実証した。

これらの成果を踏まえて、沖縄県では細製NIR法の採用を決定し、平成18年度より、価格面で有利な「分離小型測定システム」が導入された。ここでは、採用は見送られたものの、細製NIR法導入のきっかけとなった連統一体型測定システムに関する試験検討の経過を紹介したい。3年間にわたって実施した連統一体型測定システムの試験に関する情報を、関係者だけのものとして埋没させるのではなく、多くの人々に

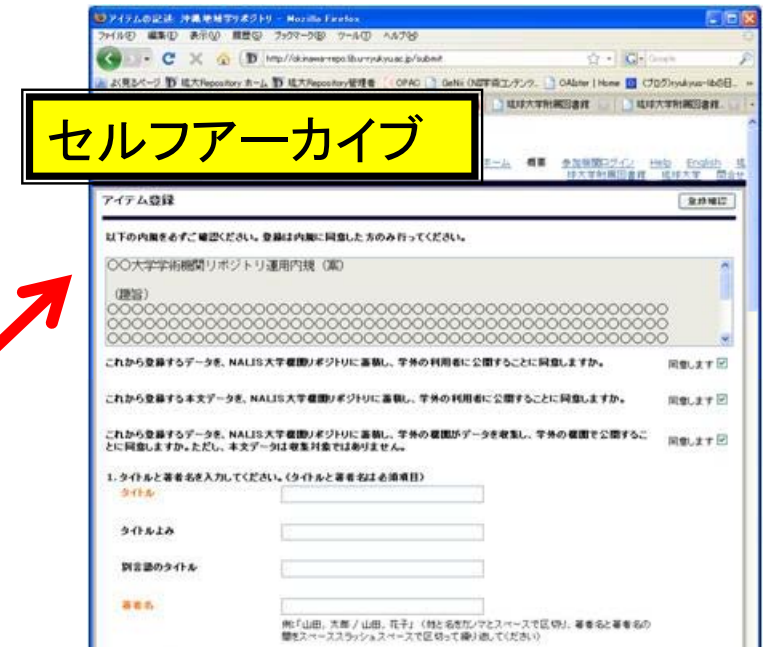
見る/開く

参加機関ログインすると…



- マイリポジトリ: 沖縄農業 研究会
- 新規登録
- 登録アイテムの確認
- 内容チェック待ち投稿一覧
- アクセス統計
- アクセス統計メール送信設定

セルフアーカイブ



記事ID	記事タイトル	アクセス数	最終更新
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

アクセス統計(論文ごと)

これまでの『沖縄農業』は・・・

The screenshot shows the website of the Okinawa Agriculture Research Society. The main content area displays a table of contents for the journal 'Okinawa Agriculture' (会誌「沖縄農業」目次一覧). The table lists various issues with their titles and authors. A blue box highlights the 45th issue and below it, with text indicating that the full text of these issues is available for public access.

巻号	発行年	目次
◆第42巻1号(通巻55号・2008年8月発行)←NEW!!	2008年8月	◆巻頭言・研究と普及: 新たなシステムの構築 < 仲盛広明> ◆スズメ類による水稲の加害 < 村上昭人・外間敦男> ◆ハウス栽培パッションフルーツの栽培技術開発 第3報. 枝の切除が新梢の生長と開花に ◆沖縄における緑肥の生育特性および分解特性 < 宮丸直子・儀間晴・與那嶺介功・亀谷洋 ◆ヤエヤマアオキの研究 6. 台風及び低温による障害 < 外間敦男・伊良波幸和> ◆島嶼地域におけるバイオマスの農業への利活用の可能性-宮古島市におけるアンケート研 ◆【海外調査】ハワイ諸島におけるバイオマス利用の現状 < 河崎俊一郎> ◆【トピック】バイオマスを利用して栽培した有機野菜の健康への効果 < 幸地貞子>
◆第41巻1号(通巻54号・2007年8月発行)	2007年8月	◆巻頭言・バイオマスはわれわれに朗報をもたらすか? < 上野正実> ◆連続一体型細裂NIRシステムによるサトウキビ品質評価の試み < 上野正実・平良英三・ ◆石垣島におけるサトウキビ農家の肥培管理の実態 -単取向上に向けた宮農改善方向- ◆ピタヤのCAM型光合成特性について < 太田麻希子・福澤康典・川満芳信> ◆田芋栽培の地域的展開 5. 金武町の田芋栽培 < 外間敦男> ◆田芋栽培の地域的展開 6. 本部町の田芋栽培 < 外間敦男> ◆田芋栽培の地域的展開 7. ソシュター(溝田)の田芋栽培 < 外間敦男> ◆シロガシラによる露地野菜の被害と防止対策 7. 台湾西地域におけるシロガシラの分布と ◆ヤエヤマアオキの研究 4. ヤエヤマアオキの生育に及ぼす土壌pHとECの影響 < 伊良 ◆ヤエヤマアオキの研究 5. 光環境が生育と着果に及ぼす影響 < 外間敦男・伊良波幸和 ◆沖縄の土壌と病害虫 1. サトウキビ土壌害虫の発生と土壌との関係 < 外間敦男・村上 ◆資料・平成18年度沖縄産作研究協会シンポジウム「さとうきびの増産に向けた課題と取り
◆第40巻1号(通巻53号・2007年3月発行)	2007年3月	◆巻頭言・地域における農業研究 < 喜名景秀> ◆産官共同研究によるキウキの品種育成および低コスト優良種苗生産技術開発の試み < 照 ◆集中脱糞施設導入後の地力維持とサトウキビ生産の関係 < 菊地香・比嘉利国・川満芳信 ◆GPS携帯電話を用いたサトウキビ生産法人の農作業データ管理システムの開発 < 鹿内 ◆田芋栽培の地域的展開 4. 宜野湾市の田芋栽培 < 外間敦男> ◆ハウス栽培パッションフルーツの栽培技術開発 第2報. 整枝法と栽植密度 < 松田具・島 ◆シロガシラによる露地野菜の被害と防止対策 6. 辺境域におけるシロガシラ個体数の季節 ◆沖縄に分布する3種土壌におけるサツマイモネコブセンチュウおよび土壌微生物相に及ぼ ◆ヤエヤマアオキの研究 3. ヤエヤマアオキの着果に及ぼす温度の影響 < 外間敦男・伊 ◆土壌よもやま話-1- < 永塚謙男>
◆第39巻1号(通巻52号・2005年12月発行)	2005年12月	◆巻頭言・サトウキビへ光明の兆しあり < 渡嘉敷義浩> ◆ハウス栽培パッションフルーツの栽培技術開発 (第1報)開花習性と結実習性 < 松田具・長堂嘉孝・島崎清香> ◆沖縄産夏期野菜の光合成速度に与える各種環境要因の影響 < 崎山寿澄・宮崎浩平・福澤康典・川満芳信・上野正実> ◆ヤエヤマアオキの研究 1. ヤエヤマアオキの分布 < 外間敦男・伊良波幸和・多宇正裕> ◆ヤエヤマアオキの研究 2. ヤエヤマアオキの栽培実態 < 伊良波幸和・外間敦男・多宇正裕> ◆シロガシラによる露地野菜の被害と防止対策 4. シロガシラによるレタスの被害消長 < 外間敦男・村上昭人> ◆シロガシラによる露地野菜の被害と防止対策 5. 農作物加害の2, 3の知見 < 外間敦男・村上昭人> ◆田芋栽培の地域的展開 3. 喜界島の田芋栽培 < 外間敦男> ◆【解説】アメリカにおけるサトウキビ耐病性品種育成法について < 謝花治>
◆第38巻1号(通巻51号・2004年8月発行)	2004年8月	◆巻頭言 < 大屋一弘> ◆X線OTおよびMRIを用いたサトウキビ茎部の二次元観察 < 松嶋卯月・佐藤昌彦・加藤博史・川満芳信・福澤康典> ◆GISによるサトウキビ生産支援情報システムの開発(第1報)～点情報表示と解析～ < 上野正実・孫麗亜・大川秋之ら> ◆GISによるサトウキビ生産支援情報システムの開発(第2報)～数値圃場地図の作成と品質データのマッピング～ < 上野正実・孫麗亜ら>

•(通巻45号以降の) 書誌情報
および著者抄録のみ

•バックナンバーの在庫減

↓

本当は全文を広く公開したい
しかし、
お金/人/ノウハウがない

参加機関を募集しています

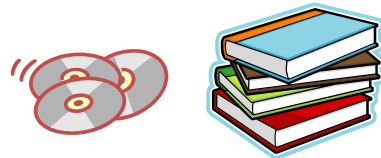
- 沖縄県および県内市町村、公共団体^{など}
- 沖縄県内に所在する学会・協会・研究会^{など}
- (いずれは) 沖縄県外に所在する沖縄地域学関連の研究機関^{など}

<収録対象コンテンツ>
紀要, 報告書, 講演会等資料,
統計データ, その他...

公開までの流れ

<参加機関>

- ①著作権処理
- ②冊子(もしくは電子化データ)の送付



- ⑦機関HPへリンク, お知らせ等

<琉球大学>

- ③冊子(もしくは電子化データ)の受取

- ④電子化およびメタデータ付与



- ⑤リポジトリへ登録・公開

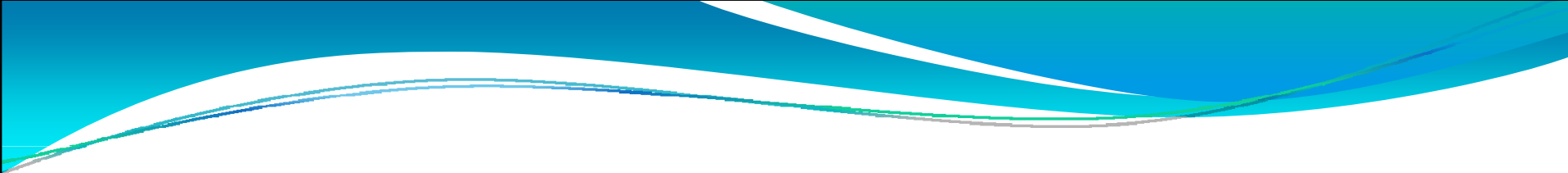
- ⑥公開済みの連絡

「沖縄地域学リポジトリ」で 公開するメリット(1)

- ① 機関の研究活動成果物を**電子的に保存**できます。
- ② **より検索されやすく**公開することができます。
- ③ **より早く**公開することができます。
(セルフアーカイブ機能)

「沖縄地域学リポジトリ」で 公開するメリット(2)

- ④ **論文毎にアクセス統計**を確認することができます。
- ⑤ 電子化作業、メタデータ作成、リポジトリ登録等の**経費負担は**（当面のところ）**発生しません。**



情報発信の新しい場として 「沖縄地域学リポジトリ」へ 参加しませんか？

【問合せ先】

琉球大学附属図書館 企画グループ(照屋)

電話: 098-895-8167

メール: ir-wg@lib.u-ryukyu.ac.jp